

学校名 鴻巣市立松原小学校
所在地 鴻巣市原馬室2425
電話 048-542-8450

1 本校の概要

本校は、鴻巣市の南、松原地区に位置し、学区境は北本市に隣接している。現在16学級(特別支援学級2を含む)児童数403名の中規模校である。本校の図書室は2階中央に位置し、学校図書館部と児童による図書委員会、学校図書館支援員、保護者による学校図書館ボランティアの活動により、図書室の運営を行っている。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・ 読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組
- ・ 各教科等における学習に結び付けた取組

(2) 実践の概要

ア 朝の読書活動の推進

毎週木曜日を読書タイムとして、全校で読書活動を行っている。また、鴻巣市では、朝読書用資料をまとめて市立図書館から借りることができ、約1か月間、各学年に合わせた絵本や読み物を20冊ずつ借り、各学級に配架している。

イ 学校図書館ボランティアによる活動

保護者の方々の協力で、月に2回程度、業間休みに絵本の読み聞かせを実施している。また、季節の飾りなどの作成と掲示により、図書室を明るく楽しい雰囲気になっている。

ウ 図書委員会の児童による活動

各学期に図書委員会の児童によるおすすめの本の紹介を図書室に掲示している。また、学期末には、各学年の貸出冊数ランキングを発表している。

エ 読書月間(11月)の実施

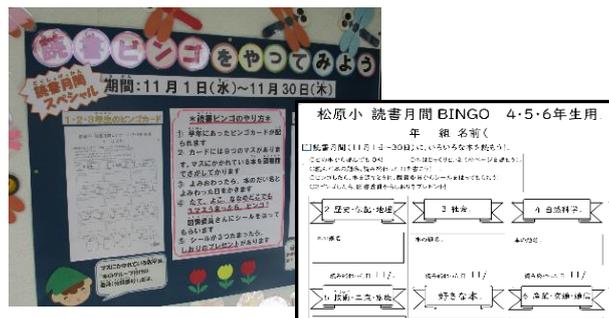
読書カードの記入

読書月間中に読んだ本の題名や感想、ページ数等を記録する用紙を用意した。学年ごとに目標の冊数やページ数を設定し、進んで読書に取り組めるようにした。

読書ビンゴ

各分類の本を指定した9マスのビンゴカードを作成し、児童の読書の幅を広げられるようにした。

3ビンゴを達成した児童には、図書委員が作成した折り紙のしおりをプレゼントした。



学校図書館支援員によるパネルシアター

「おいしいものがいっぱい」という食べ物のシルエットを見て、何の食べ物かを当てていくという内容のパネルシアターを行った。

オ 学校図書館支援員による学習補助

年度初めの図書室の使い方のオリエンテーション、国語や総合的な学習の時間等の学習に関連した図書用の用意、ブックトーク等、各担任と学校図書館支援員で連携し、学習の充実を図っている。



3 成果と今後の課題

(1) 成果

読書タイムや読み聞かせ、読書月間の取組により、児童が読書に親しむ機会を増やすことができた。また、市立図書館や学校図書館支援員との連携により、普段児童が自分で手に取ることのない本にも触れることができ、読書の幅を広げることができた。

(2) 課題

読書月間だけではなく、児童が普段から進んで読書をしたり、図書資料を学習で活用したりしていくために、学級文庫の定期的な入れ替え、新着図書やおすすめの本の紹介、授業での具体的な活用例の発信をしていく必要がある。また、休み時間に図書室を利用する児童にやや偏りがあるため、クラス単位での利用の推奨も行いたい。

(3) おわりに

児童が読書に親しみ、読書の習慣を身に付けられるように、今後も学校全体で読書活動を推進していきたい。